





食物アレルギーの原因食品②（表示）

食物アレルギーの原因食品として代表的なものには、以下のものがあります。食物アレルギーによる事故を防ぐため、パックや缶、袋などで包装された食品には、主な原因となる7品目を表示する義務があります。このほか、表示することが推奨されている食品が21品目あります。

表示義務がある 7品目	卵、乳、小麦、落花生（ピーナッツ）、えび、かに、そば	
表示が推奨 されている 21品目	魚介類	いくら、さば、さけ、いか、あわび
	肉類	鶏肉、豚肉、牛肉
	いも・豆	やまいも、大豆
	種実類	くるみ、カシューナッツ、ごま、アーモンド
	果物	キウイフルーツ、バナナ、もも、りんご、オレンジ
	その他	まつたけ、ゼラチン

（注）「乳」とは、牛乳などの乳成分を含む食品です。
「アーモンド」は、2019年9月に推奨品目になりました。

給食きゅうしょくだけでなく、遠足えんそくなどで
お弁当べんとうやおやつを食たべるときも
気きをつけてほしいことがあります。

★Bちゃんと★Aくんは、
チョコレートとあめを交換こうかんしました。

★Aくんがもらったチョコレートには
牛乳ぎゅうにゅうが使つかわれていました。

★Aくんがこのチョコレートを
食たべてしまったら、どうなりますか？

★Aくんは、食物アレルギーしよくもつが
起おこってしまうかもしれませぬ。

遠足えんそくなどでお弁当べんとうやおやつを食たべるときは、
食たべ物を交換こうかんするのはやめましょう。